

医学生理学のオンライン大学生クイズ大会

PQJO2025（医学生理学クイズ日本大会オンライン2025）開催報告

世界12カ国の大学から77チーム305人の学生が参加

2025年11月30日（日）オンライン開催

世界最大級のオンライン大学生クイズ大会、PQJO2025（医学生理学クイズ日本大会オンライン2025）が、2025年11月30日（日）に開催されました。世界12カ国の大学から77チーム305人の学生を迎え、選手たちは、医学・生理学の知識を競い、頂点を目指して戦いました。

激戦を制したのは、PQJ2022でも優勝を果たしたベトナム・Can Tho University of Medicine and Pharmacyのチーム「HOMEo5tatis」でした。3年ぶりの王座奪還となります。また、2位には3チームが同率で入賞し、そのうち2チームは同大学からの出場で、圧倒的な強さを示しました。さらに、もう1つの同率2位チームもベトナムの大学で、PQJO2025では上位をすべてベトナム勢が占める結果となりました。5位には、インドネシア勢が今年も安定して入賞し、常連の強さを発揮しました。

PQJO2025 結果

順位	大学	チーム名
1位	Can Tho University of Medicine and Pharmacy (ベトナム)	HOMEo5tatis
2位	Can Tho University of Medicine and Pharmacy (ベトナム)	KAIZEN
	Can Tho University of Medicine and Pharmacy (ベトナム)	SYNAPTIC SQUAD
	Can Tho University of Medicine and Pharmacy (ベトナム)	5P-waves
5位	Muhammadiyah Makassar Of University (インドネシア)	SURFACTAN



世界中から集まったクイズ参加者



PQJO2025 ポスター

PQJO2025(医学生理学クイズ日本大会オンライン 2025)について

PQJ(医学生理学クイズ日本大会。Physiology Quiz in Japan)は、毎年、日本の大学生が主催して行う大学生クイズ大会です。PQJO2025 は、世界中の医療系大学生を繋ぐという PQJ の使命を果たすために開催される、オンライン開催の PQJ です。主催校は札幌医科大学です。参加資格は大学生であることのみであり、学部・学年・所在国は問いません。クイズは全て英語で行われるため、世界中の大学生が参加し、生理学を中心とした基礎医学の知識を競い合いながら親睦を深めます。

【開催概要】

行事名：医学生理学クイズ日本大会オンライン 2025

英語名称：Physiology Quiz in Japan Online 2025

略称：PQJO2025 もしくは PQJ^{地球}2025

開催日時：2025 年 11月30日（日）9 時～17 時（日本時間）

開催方法：Microsoft Teams を活用したオンライン開催

参加費：無料

参加資格：大学生（学部・学年・所在国不問）

チーム編成：3～5 名。同一大学から複数チーム参加可能。

賞品：賞状、医学教科書（日本語/英語、紙/電子書籍）、白衣他

主催：PQJ Online 2025 運営委員会（札幌医科大学）

代表：井上結翔、島津大和（札幌医科大学医学部在籍中）

後援：日本生理学会

【参加登録チーム数・人数】

77 チーム・305 人

【参加登録チームの所在国・地域】

ベトナム、インドネシア、パキスタン、中国、タイ、日本、ナイジェリア、台湾、ペルー、チェコ、スロベニア、ウズベキスタン（計 12 カ国）

PQJ（医学生理学クイズ日本大会）について

PQJ の目的

医学・生理学は非常に重要であると同時に、本来とても面白いものです。しかし、医療職の資格取得のための勉強となると、孤独に、ひたすら砂を噛むような思いで知識を詰め込むことになります。

PQJ（医学生理学クイズ日本大会）の目的は、参加者に次のような強烈な学習体験をしてもらうことです。

- ① 思考の結果が、得点や失点として即座に表れる興奮を味わえる。
- ② 仲間と共に学習し、戦う喜びが味わえる。
- ③ 世界の大学生と競い合うことで、世界基準での自分の実力を把握することができる。
- ④ 一問ごとに問題解説があり、その場で学習することができる。

これらの体験を通じて得た医学・生理学の知識は、エピソード記憶として参加者の脳裏に深く刻まれます。その記憶は、医療資格取得の学習において彼らを助け、ひいては将来の医療現場で患者さんを救うことにつながっていくでしょう。

PQJ のクイズはすべて英語で行われます。英語は医療の世界での世界共通語であり、日本、世界の大学生に実践的な英語学習の機会を与えることも、目的の一つです。

最後に、世界の医療系大学生が集まる機会は、非常に少ないので現状です。世界中から医療系大学生が集まり交流し、人脈を築いていくような場を提供することも、PQJ の重要な目的です。

大会形式

PQJ のクイズは、早押しクイズやフリップクイズ等などで構成されます。出題範囲は生理学、解剖学、生化学、薬理学、免疫学、微生物学など基礎医学の広い範囲にわたります。予選、決勝を通じて最終順位が決定され、表彰が行われます。

大会中に親睦セッションが開かれ、世界各国の医療系学生が交流を深めることができます。

To join, go to: [ahaslides.com/J25C2](https://presenter.ahaslides.com/J25C2)

Q1. Match each of the following bacteria and viruses with the abnormal cells observed in their associated infections.

Mycobacterium tuberculosis	1	A	
Human herpesvirus 4	01:06	B	
Human herpesvirus 5	3	C	
Human T-cell leukemia virus type1	4	D	

109 423 293 124 1.1k 0 98

オンラインで進行中のクイズ（準決勝）

The answer is e

Phospholipase C (PLC) is the key enzyme for the distinct IP₃ pathway (IICR), where calcium release is triggered by the molecule IP₃. This is a separate mechanism from CICR, which relies on calcium entering through VDCCs to trigger RyR.

SATO Tatsuya (佐藤 達也) 東

全ての問題にある解説のオリジナルミニレクチャー（予選）

Refresher Lecture,
PQJO2025

Andrew Moorhouse,
Professor of Physiology,
School of Medical Sciences

THE UNIVERSITY OF
SYDNEY

Celebrating 175 years

昼休みに開催されたシドニー大学 Andrew Moorhouse 教授による生理学講義

優勝チームの紹介

PQJ の歴史

PQJ は、IMSPQ（国際医学生生理学クイズ大会）を主催する Cheng Hwee Ming マラヤ大学教授をアドバイザーに迎え、日本生理学会の後援のもと、2016 年に全国医学生生理学クイズ大会として創設されました。翌年の第 2 回大会（PQJ2017・大阪医科大学）では海外参加校を初めて迎えたことを機に、名称を PQJ（Physiology Quiz in Japan）へと改め、その後は日本各地の大学がホスト校となり大会が開催されてきました。

2020 年にはコロナ禍を受けてオンライン形式へ移行し、広く海外チームの参加を募る体制が整いました。その結果、PQJ2023 では 12 カ国から 125 チーム、約 500 名の学生が参加する国際的な規模へと発展しました。2024 年には島根大学をホストとして約 4 年ぶりに現地開催が再開され、スロベニア・University of Ljubljana チームが優勝しました。さらに翌年の PQJ2025（大阪医科薬科大学開催）でも同チームが連覇を果たしています。

一方で、オンライン開催の参加しやすさが高く評価されたことから、現地大会再開後もオンライン継続への要望が多く寄せられました。その声を受け、昨年は東京慈恵会医科大学主管のもと 1 年半ぶりとなるオンライン大会「PQJO」が開催され、世界 17 カ国から 99 チーム・368 名の学生が参加しました。今年はその第 2 回大会として、札幌医科大学主管でオンライン版大会が開催され、世界 12 カ国の大学から 77 チームが参加しました。

PQJ 歴代大会一覧

第 1 回全国医学生生理学クイズ大会

日時：2016 年 4 月 17 日(日) 会場：岡山大学医学部 優勝校：鳥取大学

医学生生理学クイズ日本大会 2017 (PQJ2017)

日時：2017 年 4 月 16 日(日) 会場：大阪医科大学(現大阪医科薬科大学) 優勝校：大阪大学
医学生生理学クイズ日本大会 2018 (PQJ2018)

日時：2018 年 5 月 19(土)・20 日(日) 会場：鳥取大学医学部 優勝校：防衛医科大学
医学生生理学クイズ日本大会 2019 (PQJ2019)

日時：2019年5月26日(日) 会場：東京慈恵会医科大学 優勝校：防衛医科大学

医学生理学クイズ日本大会2020(PQJ2020)

日時：2021年3月7日(日) 会場：東京医科歯科大学(オンライン開催) 優勝校：University of the East Ramon Magsaysay(フィリピン共和国)

医学生理学クイズ日本大会2022(PQJ2022)

日時：2022年3月6日(日) 会場：国際医療福祉大学(オンライン開催) 優勝校：Can Tho University of Medicine and Pharmacy(ベトナム社会主義共和国)

医学生理学クイズ日本大会2023(PQJ2023)

日時：2023年3月26日(日) 会場：札幌医科大学医学部(オンライン開催) 優勝校：東北大学(日本), University of Ljubljana (スロベニア)

医学生理学クイズ日本大会2024(PQJ2024)

日時：2024年3月24日(日) 会場：島根大学医学部(現地開催) 優勝校：University of Ljubljana (スロベニア)

医学生理学クイズ日本大会オンライン2024(PQJO2024)

日時：2024年10月20日(日) 会場：東京慈恵会医科大学(オンライン開催) 優勝校：KIST Medical College and Teaching Hospital (ネパール)

医学生理学クイズ日本大会2025(PQJ2025)

日時：2025年3月23日(日) 会場：大阪医科大学(現地開催) 優勝校：University of Ljubljana (スロベニア)

医学生理学クイズ日本大会オンライン2025(PQJO2025)

日時：2025年11月30日(日) 会場：札幌医科大学(オンライン開催) 優勝校：Can Tho University of Medicine and Pharmacy (ベトナム)

医学生理学クイズ日本大会2026(PQJ2026)

日時：2026年3月21日(日) 会場：香川大学医学部(現地開催予定)

PQJ事務局について

PQJ事務局は、PQJ開催経験者で構成された非営利組織であり、毎年のPQJの開催を目的として、開催校PQJ委員会へのコンサルテーション・物品の貸与等を無償で行っています。

【PQJ事務局概要】

団体名：PQJ事務局(医学生理学クイズ日本大会事務局)

所在地：京都府京都市山科区音羽珍事町2洛和会音羽病院医局内

事務局長：井上鐘哲(洛和会音羽病院・医師)

事業内容：PQJ開催校の選定と開催コンサルテーション、必要物品の貸与

設立：2017年

公式サイト：<http://plaza.umin.ac.jp/quiz/>

Email：physiologyquiz@gmail.com

構成員：

井上鐘哲 医師 PQJ2017 代表 (事務局長)

岡田浩太郎 医師 PQJ2019 代表

工藤大樹 医師 PQJ2023 代表

上田大輔 鳥取大学医学部 PQJ2024 代表

中山大河 東京慈恵会医科大学医学部 PQJO2024 代表

問い合わせ先

PQJO2025

井上結翔、島津大和(PQJO2025 代表)

所属：札幌医科大学医学部

住所：札幌市中央区南 1 条西 1 7 丁目

Email : 2025pqjo@gmail.com

大会公式サイト : <https://www.pqjo2025.com/>

PQJ 事務局

井上鐘哲(PQJ 事務局長)

所属：洛和会音羽病院 医局

住所：京都府京都市山科区音羽珍事町 2

電話 : 080-3359-1355

Email : inoue5000@gmail.com

個人サイト : kaneaki.net